

新型コロナウイルス感染症患者が発生しました(市内 214 例目)

— 市長メッセージ —

- 本日、宮城県から、新たに気仙沼市内で1名の感染が確認された旨の発表がありました。（別紙 宮城県記者発表資料：「1新規患者の概要【15993例目】」のとおり）
- 感染された方にお見舞い申し上げますとともに、一日も早い回復をお祈りいたします。
- 保健所の積極的疫学調査により、濃厚接触者等の把握やPCR検査が進むものと思われますので、感染された方に御配慮いただき、誹謗中傷や風評被害につながる行動をとらないよう、御理解と御協力をお願いいたします。
- 宮城県では、「まん延防止等重点措置」の適用（期間は、9月30日まで）を受け、国の「基本的対処方針」等に沿ってこれまで実施してきた対策を拡充・強化することとし、現在発令中の県・仙台市独自の緊急事態宣言も9月30日まで延長することとしております。
- 本市では、「まん延防止等重点措置」適用に伴う県の要請、また、宮城県・仙台市独自の「緊急事態宣言」の基本的感染対策と協調し、感染症拡大を市民が一体となって防止するよう取組を進めます。
- 「まん延防止等重点措置期間」においては、感染拡大の対策として継続して「基本的感染対策の徹底」「飲食店等に対する要請」「県民への要請」「イベント主催者等への要請」が求められておりますので、市民・事業者の皆様におかれましても引き続きご協力いただきますようお願いいたします。
- 市民の皆様には、基本的な感染予防対策の徹底のほか、マスクを外し飛沫が飛ぶような会話や大人数での会食は控え、不要不急の外出の自粛やお店が求める感染防止策に積極的に御協力いただきますよう重ねてお願い申し上げます。
- 感染の不安がある方や体調のすぐれない方などは、速やかに「かかりつけ医」や宮城県の「受診・相談センター（コールセンター）」に御相談ください。
（受診・相談センター電話番号 022-398-9211 24時間対応）
- 本市では「気仙沼市感染症クリニック」を開設しています。発熱等の症状により受診を希望する方は、あらかじめ電話予約をお願いいたします。
（9月診療日 月・水・金・土曜日（祝日除く） 電話番号 080-4885-9465）

記者発表資料
 令和3年9月19日
 疾病・感染症対策課感染症対策班
 担当：我妻
 電話：022-211-2632

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者の発生等について

今般、宮城県内におきまして、新たに8名（15986～15993例目）の新型コロナウイルス感染症患者が確認されました。患者の概要は以下のとおりです。

1 新規患者の概要

No	年代	性別	職業	居住地	発症日	症状	陽性判明日	接触歴	療養状況	重症	その他
15986	10代	女性	学生	名取市	9/15	あり	9/18	あり	調整中		
15987	30代	男性	会社員	亘理町	9/17	あり	9/18	あり	調整中		
15988	20代	男性	パート	大崎市	9/16	あり	9/18	あり	調整中		
15989	20代	女性	パート	大崎市	9/17	あり	9/19	あり	調整中		
15990	20代	男性	会社員	栗原市	9/14	あり	9/18	あり	入院中		
15991	50代	男性	会社員	石巻市	9/17	あり	9/17	あり	調整中		
15992	30代	男性	自営業	石巻市	9/18	あり	9/19	あり	調整中		
15993	10代	男性	学生	気仙沼市	9/17	あり	9/18	あり	調整中		

※外国籍で公表に同意が得られた場合はその他の欄に「外国籍」と記載（日本国籍または非公表の場合は記載しない）。

2 施設における検査等の進捗状況

9月15日に業種・業態を公表した施設（建設業（職別工事業））（栗原市）

陽性者	累計 6人(9月19日現在)
	本日 1名追加

※9月19日にクラスターと認識（県内190例目）

3 療養者数等の状況

(本日 15 時時点)

計 (うち仙台市)			療養中							療養終了	死亡	
			入院			宿泊療養	自宅療養	入院・療養先調整中 ※()内は当日分				
			うち感染症指定医療機関	うち入院協力医療機関	その他医療機関							
患者	県	6,084人	191人	53人	19人	34人	0人	110人	21人	7人(7人)	5,843人	50人
	仙台市	9,892人	284人	69人	13人	56人	0人	116人	74人	25人	9,545人	63人
	合計	15,976人	475人	122人	32人	90人	0人	226人	95人	32人	15,388人	113人
その他	県	7人	欠番 (744例目, 1196(市800)例目, 4298例目, 4688(市3050)例目, 5163(市3377)例目, 5605(市3677)例目, 6373(市4144)例目, 6504(市4240)例目, 7640(市4903)例目, 8991(市5651)例目, 9028(市5678)例目, 9929例目, 12016(市7427)例目, 12963例目, 13354例目, 14103例目, 15577例目)									
	仙台市	10人										
	合計	17人										
総数	県	6,091人										
	仙台市	9,902人										
	合計	15,993人										

※「死亡」は死亡後に新型コロナウイルスが検出された者も含まれます。

4 病床の使用状況 (本日 15 時時点)

(1) 確保病床の状況

〈全県〉

	確保病床	
	全入院者	うち重症者
確保病床数	496床	54床
入院者数 (使用病床数)	122人	13人
使用率	24.6%	24.1%

〈仙台医療圏〉

	確保病床	
	全入院者	うち重症者
確保病床数	315床	39床
入院者数 (使用病床数)	91人	11人
使用率	28.9%	28.2%

※確保病床・・・各医療機関から報告のあった現時点で確保している病床

※入院者数(使用病床数)は、その他医療機関に入院されている方を含みません。

※本日の病床数：496床(感染症指定医療機関：244床, 入院協力医療機関：252床)

(2) 受入可能病床の状況

〈全県〉

	受入可能病床	
	全入院者	うち重症者
受入可能病床数	251床	26床
入院者数 (使用病床数)	122人	13人
使用率	48.6%	50.0%

〈仙台医療圏〉

	受入可能病床	
	全入院者	うち重症者
受入可能病床数	140床	18床
入院者数 (使用病床数)	91人	11人
使用率	65.0%	61.1%

※受入可能病床・・・対応人員や入退院の状況により実際に各医療機関が当日に受入可能な病床

※入院者数(使用病床数)は、その他医療機関に入院されている方を含みません。

5 変異株の確認状況（本日15時時点）

L452Rの変異がある変異株の確認状況（県分）

(A) 陽性患者数 (5/29～9/18判明分)	(B) スクリーニング件数 (B/A)	(N) 判定不能	(C) L452R陽性 (C/(B-N))
2,777件	1,363件 (49.1%) ※本日追加 0件	59件 ※本日追加 0件	1,185件 (90.9%) ※本日追加 0件

このほか、陽性判明日が5月28日以前の検体3件を検査しておりますが、L452R変異株は確認されておりません。

県民へ感染対策の強化の呼びかけ

東北医科薬科大学医学部 賀来満夫特任教授など
宮城県感染症アドバイザーボードの専門家のご意見をもとに作成

- 宮城県内では、**変異株L452R（デルタ株と疑われる変異株）の感染が拡大**し、ほぼ従来株から置き換わっている
- 変異株L452Rは非常に感染力が強く、**従来の感染対策では不十分**

※9/6～9/12の陽性患者のうち、検査を行った123件の100.0%の116件がL452R（判定不能7件除く）



感染対策として気をつけるべきポイント5点

- ① 会話の際には**1.9メートルの距離**をとり、会話の**時間は短く**する
※従来は1～1.5メートル。相手との距離を十分にとる
- ② 必ず**不織布のサージカルマスク**を着用する
※ウレタンや布のマスクは感染予防効果が低い



③ **こまめに換気**をする

※家庭用エアコンで換気はできない
冷房をしても定期的に換気をする
2箇所窓を開け、扇風機で空気の流
れをつくり、常時換気することが望ましい



④ 速やかに**ワクチン**を接種する

※高齢者のワクチン接種は概ね完了
次は若年者がワクチン接種を



ワクチン2回接種後も、感染予防対策は必要です!!
感染者のうち、約6%の*ブレイクスルー感染がわ
かっています。

*ブレイクスルー感染とは、ワ
クチン2回接種後、2週間以上
経って発症（感染）している方
を集計しています。

⑤感染者が増加しているときは、**普段会わない人
(家族以外の人)と会うのは避ける**

※最近会っていなかった友人や知人、初めて会
う人との接触はできるだけ減らす

休日のそうした行動で感染しているケースが
多く、休日後の感染拡大につながっている

リモートでのコミュニケーションを積極的に
取り入れる



最近の感染の傾向 1

感染の中心は20代～40代

家庭を持つ働き盛りの年代が感染し、
家庭内や職場で感染を広げる事例が増えている

対策① 家庭内感染の防止

- ・帰宅時の手洗いの徹底
- ・タオルを共用しない
- ・静かに食事をする。料理はできるだけ小分けにする
- ・こまめに換気をする など



対策② テレワークの推進

※職場内で感染を広げないよう、
できるだけテレワークで感染防止



最近の感染の傾向 2

保育施設や児童関連施設での感染と思われる事例が増えている

主な感染対策

①窓を開けての定期的な換気（※）、②手洗いの徹底、③手が触れた場所の消毒の徹底、④体調がすぐれない場合の早めの受診などの感染対策を徹底しましょう。特に、室内で多くの子どもたちが集まる場合には、こまめな換気が重要です。

※定期的な換気とは

2方向の窓を開け、数分程度の換気を1時間に2回程度行うことが有効です。窓が1つしかない場合は、部屋のドアを開けて、扇風機などを窓の外に向けて設置すると効果的です。



エアロゾル感染とは

エアロゾルとは、空気中の小粒子や飛沫が浮遊している状態のこと

- ・咳で約700個/回、くしゃみで約4万個/回発生
- ・気管挿管や喀痰吸引等の医療処置ではさらに多く発生

ウイルスが回り込んで来る可能性あり
アクリル板を通信しないで！

マスク着用と換気が重要!!

